

●通常の発熱には、あまり使用しないことが多いのですが、レメディの全体像に合った発熱症例の場合は、

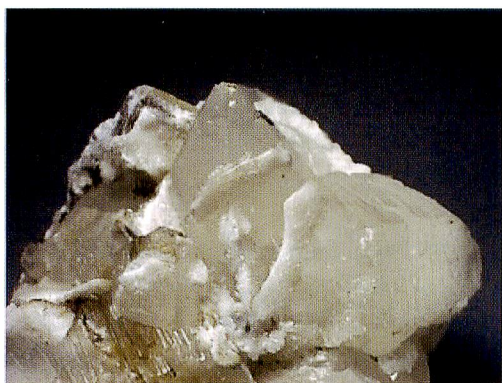
非常に有効です。レメディに合った急性の発熱には、30cまたは200cを1時間ごとに投与します。

Baryta carbonica 炭酸バリウム BaCO_3 [精神発達の遅れと幼児化]

Barium carbonate- BaCO_3

BACK GROUND

Baryta carbonicaは、炭酸バリウム BaCO_3 です。分子量197.34の白色の粉末で、水に溶けにくく、酸に溶けます。天然では、毒重石として産出されます。その名のとおり、重く（バリウムの語源は、ギリシア語の重いbarysに由来します）、弱い毒性をもっています。毒重石は黒色頁岩中に含まれ、2mm以下の粒状あるいは六角柱状の形態を示して、無色透明ないし白色半透明で、ガラス光沢を有しますが、断口は樹脂光沢を示します。紫外線の照射で青白く蛍光する性質をもっています。



主な用途としては、管球、光学ガラス、フェライト、硫酸痕除去剤、塗薬、顔料、電子セラミックス部品、蛍光体原料、触媒添加剤などに利用されています。

バリウム単体は、放射性ラジウムを除けば、アルカリ土類金属の中でもっとも重いものになります。性質はカルシウムやストロンチウムに似ています。バリウムがよく使われるのは、胃の健康診断で使う硫酸バリウムですが、これは水や薄い酸に溶けず、吸収されない所以で毒性は低いです。一方、水溶性のバリウムは強い毒性を示しますので、殺鼠剤や殺虫剤などに使われます。

作用機序は、バリウムがカルシウムイオンと似ているために、体内で細胞膜の透過性に干渉してしまう結

果、筋肉組織やカリウムイオン、カルシウムイオンチャンネルに悪影響を与えることによって、症状が発現します。

ある種の植物や海の動植物の中には、バリウムを体内で活用するものも存在します。たとえば、チリモ科のある藻では、捕食動物から逃げるために体内のバリウムをおもりにして、海底に沈むことをします。

急性中毒としては、鼻、喉、消化管、気管支、肺などの粘膜を刺激し、炎症を起こすことがあります。多量に摂取すると嘔吐、腹痛、下痢、消化管からの出血、高血圧、神経筋障害などの症状を起こします

FIRST PROVING

ハーネマン (『Chronic diseases』)

MIND

Baryta carbonicaタイプは、すべてにおいて未熟で、鈍く、臆病で恥かしがりやです。優柔不断で、自分に自信がありません。未熟さは、体が未発達なこともある、精神年齢が未発達なこともあります。そのことを自分で自覚し、劣等感をもっているために強い保護願望があります。これはとくに女性において顕著に現われるようです。自分から1人で社会に出て行く勇氣と自信をもっていません。外へ出ると、勇氣の代わりに不安を抱えてしまいます。自分が人よりも劣っているという劣等感があるからです。知らない人に会うことを嫌います。自分が安心できる家族や親しい仲間にはベツタリとくっついていて、引っ込み思案なので、何か起こっても1人でイライラしたり、嘆いたりします。どちらかというと無口ですが、妊娠中や生理中はよくしゃべります。

もう1つの特徴は、記憶力が弱く集中力もないために、学習したことをしっかりと覚えていられないところ、知力が足りないか、または衰えてしまっています。そのため自分で考えて単独行動することは非常に苦手です。その他の特徴としては、不安になると爪

を嚙んだり、足の裏の汗が臭いなどがあります。果物は嫌いです。冷え性で、冷たい空気にとっても敏感です。

AFFINITY

Baryta carbonicaは、主に成長や栄養面、動脈硬化による高血圧、リンパ系、腺組織、心臓、肺、神経、精神への親和性があります。とくに成長や精神発達が遅れている子供と、子供じみた行動をとる高齢者に好んで使われます。

CLINICAL APPLICATIONS

■精神

- ・身体的、精神的な成長遅延：言葉を発するのが遅かったり、歩き始めが遅いなど。体の各部位のバランスが均等に成長していない例もあり、頭が大きめで背が低いこともよくあります。また、生殖器の未発達が目立ちます。
- ・知能障害：自分の知能が劣っていることを知っていて、自分に自信がありません。
- ・抗精神病薬の乱用による精神的鈍麻
- ・片側不全麻痺：頭部外傷後に起こります。
- ・高齢者の痴呆症状：幼稚な言動をとるようになります。
- ・不安症

■腺

- ・扁桃腺の肥大：炎症を起こして痛みがあり、とくに飲み込むときに焼けるような痛みがあります。
- ・頸部リンパ節腫脹
- ・前立腺肥大、前立腺炎
- ・ホジキン病

■老化現象の予防

- ・老人性痴呆症
- ・初期のアルツハイマー病

- ・動脈硬化による高血圧症
- ・早期の老衰
- ・勃起不全：性欲の喪失、性交の最中にでも眠くなってしまうことがあります。

■その他

- ・鼻感冒：上唇と鼻が腫れることがあります。
- ・脂肪腫
- ・風邪を引きやすい体質
- ・脱毛：若年性
- ・遺尿症

MODALITY

- 外を歩くこと、おくび、暖かく包まれること、病気のことを忘れているとき、冷たい食べ物、1人になることなど
- ❏ わずかな寒さ、湿気、自分の病気について考え込むこと、冷氣、頭と足を冷やすこと、太陽の熱、匂い、温かい食物、腕を上を上げること、患部を下にして寝ること、左下に寝ること、食後などその状態がより古いものほど、より高めのポテンシーを使用します。

RELATIONS

- ・ Antidoted by : Antimonium tartaricum, Belladonna, Camphora, Dulcamara, Mercurius, Zincum metaricum
- ・ Compatible : Sqilla, Arsenicum album, Sulphur
- ・ Complementary : Dulcamara, Silica, Psorinum

●主なBarytaのレメディ

Baryta acetica (CH_3CO_2)₂Ba, Baryta carbonica BaCO_3 , Baryta iodata BaI_2 , Baryta muriatica $\text{BaCl}_2 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$, Baryta phosphorica BaHO_4P ,

Belladonna ベラドンナ [急性、発熱、高熱、乾燥、幻覚]

Atropa belladonna L.

Atropa lethalis, Belladonna baccifera, Belladonna trichotoma, Solanum fluriosum, Solanum hortense

BACK GROUND

Belladonnaは、ヨーロッパの南西部から西アジア原産で、湿地に自生するナス科の多年生植物です。草丈80～180cmで、森や茂みなどの日陰を好み、乾燥

に弱い性質をもっています。大きな卵型の葉で、夏には鐘形の花を夜に咲かせ、暗紫色または赤紫色の花筒は先端が5つに裂けて尖り、5個の緑色の萼にかこまれています。果実は1個の液果で、熟すにつれて緑か